

平成 29 年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 冊子・リーフレットの作成、配布 ごみと資源の分け方・出し方 (保存版、簡易版、4か国語版) ※保存版は H29.4月および H29.10月(ごみ処理手数料改定時)に配布 Bunkyo ごみダイエット通信 (町会向け A4判(両面)、B4判(片面)、新聞折込版) 児童向けパンフレット リサイクル推進協力店リーフレット 登録店舗数 59 店舗(新規店舗数 15 店舗) 食品ロス削減に取り組む店舗追加 ● 区報を活用した啓発 4/25号、12/10号 正しいごみの分別の周知 4/25号、2/10号 未利用食品回収の周知 7/25号 携帯電話・スマートフォン回収の周知(メダルプロジェクト) 9/25号(1面) 2R推進啓発 12/10号 使用済み小型家電回収の周知 ● CATV を活用した啓発 フードドライブ、子ども用品とりかえっこ リサイクル推進協力店紹介 ごみ減量! 2R推進作戦、eco カルタの製作・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学生向けの 2 R 記事を作成して区内小学校等に配布し、若い世代にも働きかける。 ● リサイクル推進協力店の店舗数の拡充を図るため、文京区商店街連合会や食品衛生協会に働きかけるとともに、区内店舗への勧誘も引き続き実施する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
<p>1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進</p>	<p>(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供</p>	<p>【エコ先生の特別授業】 9回実施 251名</p> <p>【区制70周年記念ぶんきょう eco カルタ 70】 作品応募総数 537件、 12月10日(日)表彰式出席者 入賞者38名、家族等約100名、カルタ大会参加者 44名(きょうだい、友人を含む) 作品展示来場者約120名</p> <p>【ふれあい講座】 区立小学校17校、都立文京盲学校で実施。延べ1,196名受講</p> <p>【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】 6月3日(土) 518家族参加、出品数6,439点 交換数4,747点 11月18日(土) 492家族参加、出品数5,862点 交換数4,445点</p> <p>【スペシャル講座】 10月18日(水)モノとの係わり方と片付け方～リスリムライフのすすめ～ 講師 二木 玲子氏(環境カウンセラー) 参加者22名 10月21日(土)牛乳パックをリサイクル!『紙すき教室』 講師 文京区消費者の会 参加者18名 10月24日(火)簡易包装のすすめ!『ふろしきの包み方教室』 講師 文京区消費者の会 参加者17名</p> <ul style="list-style-type: none"> ● クールアースフェア(環境政策課主催)に出展 7月7日(金)エコ資源の回収、フードドライブ、eco カルタ作品募集 ● 文京朝顔・ほおずき市に出展 7月22日(土)・23日(日) フードドライブ、eco カルタ作品募集 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規講座の開拓を進める。特に食品ロス関連など区民の関心が高い内容の講座を検討していく。 ● リサイクル推進サポーターが講師として活躍できる場を提供していく。 ● 準備作業にも、サポーターの協力を活用していく。 ● 安全管理上、当日の混雑した状況を緩和するため、マナーの徹底やより良い運営方法を模索する。 ● 引き続き、他課の事業と連携し、フードドライブ等の啓発活動を進めていく。

		<ul style="list-style-type: none"> ● 子育てフェスティバル（子育て支援課主催）に出展 9月3日(日) フードドライブ、6月の子ども用品とりかえっこで残った衣類を無料頒布 	
	(3) 地域活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● Bunkyo ごみダイエツト通信の町会による配布 ● ステージ・エコにリサイクル・環境団体が出展し協働して3Rの普及啓発に取り組んだ。 ● 団体育成支援「公開講座」「バス見学会」をリサイクル活動団体と協働で実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、地域活動団体、リサイクル・環境団体と連携し、3Rの普及啓発に取り組む。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
2 普及啓発・協働の推進 事業者を対象とした	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 延べ床面積 1000 m²～3000 m²未満の事業用建築物を対象とした立入検査や廃棄物管理責任者への講習会、自己のごみの種類や量の把握方法の周知、等を通じ、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知徹底及び指導を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象件数 339 件 再利用率計画書提出件数 306 件 事業用建築物立入検査件数 94 件 廃棄物管理責任者参加人数 42 人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者向けのごみ減量・リサイクルハンドブックを作成し、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。
	(2) 事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 既存の 3 R 推進活動に加え、食品ロス削減に取り組む店舗を新たにリサイクル推進協力店の対象とし、59 店舗に対し協力店の認定を行った。 (新規店舗数 15 店舗) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロス削減に取り組む店舗を増やすため、食品衛生講習会等を通して事業者に働きかける。 ● 食品ロス削減に取り組む店舗を「ぶんきょう食べきり協力店」として独立させる。
3 家庭系の 3 R の推進	(1) リデュース (発生抑制) の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 3 R 推進月間に向けて、区報 9/25 号 1 面で食品ロスの削減の記事を掲載し啓発を図った。<u>再掲</u> ● フードドライブの実施 未利用食品を回収し、フードバンクに寄付を行うフードドライブをイベントに合わせて実施した。29 年度よりイベント回収に伴う窓口回収を開始した。 イベント・窓口回収 8 回 食品回収量 約 609 kg 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食品ロスの削減をテーマとする講座や講演会の開催や未利用食品の回収イベントで食品ロス削減の周知啓発を行い、発生抑制を推進する。 ● 平成 30 年度よりフードドライブについて、リサイクル清掃課の窓口で通年回収するなど、拡充を図る。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
3 家庭系の 3Rの 推進	(2) 生ごみ減量 活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 【コンポスト化容器の斡旋】 4基斡旋（地上型0基、ベランダ型4基） ● 【生ごみ減量講座】 春季 5月19日(金)「生ごみ腐葉土の作り方」 24名参加 6月29日(木)「生ごみ腐葉土の使い方」 26名参加 秋季 11月10日(金)「生ごみで腐葉土の作り方」 19名参加 冬季 1月23日(火)「家庭の食の安全と賢い家計のやりくりのための、食品ロス削減の考え方」 33名参加 ● 【生ごみ交流会】 3月16日(金)「エコの花 腐葉土・堆肥で咲かせよう」 30名参加 ● 【エコ・クッキング教室】 親子対象 7月27日(木) 小学1・2年生 9組参加 7月28日(金) 小学3～6年生 10組参加 一般対象 11月30日(木) 22名参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● コンポストの需要が年々減少する中、家庭用生ごみ処理機等、他の手段の導入も研究していく。 ● 生ごみ減量講座やエコ・クッキング教室で、食品ロスについても啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。 ● 食生活から生ごみの減量を考える講座を取り入れる。 ● 生ごみ減量塾の対象者が固定化していることから、内容の見直しを検討する。 ● エコ・クッキングの応募状況から、対象や委託内容、周知方法の見直しも検討する。
	(3) モノを長く使う ライフスタイルの 促進	<ul style="list-style-type: none"> ● リサイクル推進サポーター養成講座のカリキュラムに、2Rのライフスタイルを啓発する内容を組み込んだ。 ● Bunkyo ごみダイエット通信で、修理・修繕を行っているリサイクル推進協力店を紹介した。 ● ステージ・エコでおもちゃの病院を開設し、故障したおもちゃ類の無料修理を実施した。5回 延べ128件 	<ul style="list-style-type: none"> ● おもちゃの病院は26年度からPRを強化した結果、認知度が上がり毎回盛況となっている。子ども向けイベントに合わせた開設も検討する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
3 家庭系の 3Rの 推進	(4) リユース (再使用)の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 【子ども用品とりかえっこ～衣類とおもちゃの無料交換会～】再掲 6月3日(土) 518 家族参加、出品数 6,439 点 交換数 4,747 点 残った衣類を9月3日の子育てフェスティバル(子育て支援課主催)で頒布。出品数 425 点、139 家族来場、持帰り数 318 点 その他、乳児院や病後児施設からのニーズにも対応した。 11月18日(土) 492 家族参加、出品数 5,862 点 交換数 4,445 点 ● 区内のフリーマーケット・バザーの開催情報をHPに掲載。6件 ● リサイクル推進協力店の各店舗の取組み情報やPRポイント等をHPに掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子ども用品の交換会は参加者から好評を得ている。今後も年2回程度開催し、区民のリユース意識の向上を図っていく。 ● リサイクル推進協力店は、閉店による登録店舗数の減があった。修理やリサイクルショップの新規登録店舗を増やしていく。
	(5) 集団回収の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実施団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。 ● ごみダイエット通信(後期)が新聞の折り込み広告になり、集団回収に関する記事を掲載できたので、町会のみでなく多くの区民に周知を図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団回収実践団体の登録数は年々増加しているため、引き続き支援を行っていく。
	(6) 資源回収の 拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールや警察(富坂・駒込)と連携し、取締りを行った。 ● 4月からステージ・エコイベントで小さな金属類・水銀使用計器類の回収を開始した。小さな金属実績 411点 78.2kg また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を実施した。 ● 8月から、メダルプロジェクトとして、携帯電話・スマートフォンの回収ボックスを地域活動センター等区内13箇所に設置し、回収を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続きGPS端末の設置など効果的な取り組みを行っていく。 ● 今後も、小さな金属類・水銀使用計器類の回収はステージ・エコイベントで実施する。水銀使用計器類はリサイクル清掃課窓口において通年で回収する。 ● 携帯電話・スマートフォンの回収を31年春(予定)まで実施する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
4 事業系の 3Rの 推進	(1) 大規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、3Rと適正処理の推進を働きかけた。 ・対象件数 300件 再利用計画書提出件数 300件 事業用建築物立入検査件数 88件 廃棄物管理責任者参加人数 51人 	<ul style="list-style-type: none"> ● 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても一組工場への不適正搬入が頻繁にあるため、事業者責任の徹底を強化する。
	(2) 小規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> ● Rサークルオフィス文京に対しては事業用PRちらしの作成、印刷製本組合に対して資源の回収袋を作成・支給し、支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後もRサークルオフィス文京や印刷製本組合に対しては、支援事業を継続する。
	(3) 区の率先した取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内LANにBunkyoごみダイエット通信の発行について掲載し、職員全体への周知・啓発を行った。 ● 紙類の購入量の削減、裏面使用（再使用）や分別の徹底について、全庁的な取り組みの強化を図った。 ● 庁内LANで、各課・施設で不要となった備品等の転活用に積極的に行った。 ● 3010運動、宴会5か条など食品ロスの削減について庁内LANで啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 紙類の再使用や分別の徹底について、継続的な取り組みを行う。 ● 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を今後実施する。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、ハイブリッド車など低公害車の継続的な導入により、環境負荷の低減に努める。
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについて周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と連携を図っていく。
	(3) 適正排出の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 9,570 件 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあい指導の件数は増えており、引き続き適切な指導、相談業務を行っていく。
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	<ul style="list-style-type: none"> ● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可や更新時の指導などを行った。 ● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、排出事業者に対する一般廃棄物処理業者の斡旋を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物処理業者の斡旋については、電話で随時対応しているが、質の良い業者を紹介してほしいとの要望が多いことから、個別の業者を紹介できるか検討する。
	(5) 中間処理・最終処分	<ul style="list-style-type: none"> ● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努めていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
5 適正処理の推進	(6) 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 23区リサイクル清掃主管課長会において、災害時の連絡方法などの検討を行った。 ● 東京都災害廃棄物処理計画策定を受け、文京区災害廃棄物処理計画の検討を開始した。 ● 【災害時等を想定した配車訓練】23区、清掃一部事務組合と連携して6月に実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、課題解決に向けて検討を継続する。 ● 災害廃棄物処理計画の策定に向けて検討する。また、「ごみ・し尿・がれき等」の処理マニュアルも順次検討を開始する。 ● 特別区災害廃棄物処理計画の策定に合わせて、文京区災害廃棄物処理基本計画を改定していく。
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	<ul style="list-style-type: none"> ● 【リサイクル清掃審議会】第6期 1回開催。文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況やごみ量等を報告・審議。 ● リサイクル推進サポーター連絡会で、eco カルタを用いた啓発活動について話し合った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● サポーターが主体となった3R推進活動について、具体的な活動につながるよう支援する。
	(2) 国等への要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 製造・販売事業者の拡大生産者責任に基づく取組みやエアゾール缶等の安全な収集・処理、容器包装リサイクル法改正等について、全国都市清掃会議や全国市長会を通じて国や業界団体へ働きかけを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 容器包装リサイクル法の改正については、全国市長会等を通じて国に要望している。引き続き国の改正作業を注視しつつ、様々なチャンネルを利用し要望していく。
	(3) 行政内部での連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取組みを掲載し啓発を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、各事業で関連部署との連携・協力を図っていく。

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	今後の課題や方向性
6 運営管理体制の充実	(4) 処理費用負担の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業系ごみ処理手数料について、「廃棄物処理手数料の改定ルール」に基づき、廃棄物処理手数料の算定を行った結果、廃棄物処理手数料原価と現行手数料との乖離があることから、廃棄物処理手数料の改定を行った。 改定時期 平成 29 年 10 月 (23 区統一) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭ごみの有料化については、ごみ減量や3R推進のための働きかけを十分に実施し、そのうえでもなお、数値目標が達成できない場合において検討を行う。
	(5) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてもホームページや Bunkyo ごみダイエット通信にて公開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、事業概要やホームページ、Bunkyo ごみダイエット通信等で情報公開を行っていく。